

伊座敷エリア



江戸時代、島津藩主が作らせた薬園。西洋から輸入した薬草を栽培し医学を研究した。佐多岬の温暖な気候に適合して、南洋の植物が繁茂している



旧佐多町の中心街で旅館や商店、飲食店がある。ここから佐多岬へ約17キロ、この先はガソリンスタンドがないので、この町内で給油しておこう



元は有料だったが現在は無料で開放されて佐多岬へ通じている。カーブが連続する走って気持ちの良いドライブウェイ。途中で北緯31度線が通り、大きなモニュメントが立っている



本土最南端のリゾートホテル。ライダー歓迎の宿で、最南端ミーティングの際には関係者や参加者が大勢宿泊する。部屋はすべてオーシャンビュー、美しい海の幸を鹿児島特産の焼酎でいただきたい



森の遊歩道はヤシやソテツ、色鮮やかなハイビスカスが茂り、展望所から佐多岬灯台と銀盤のような海を眺望できる。一帯に生息するツバメニチョウは、白い羽にオレンジの紋様が美しい



佐多岬展望台へ向かう途中、ソテツが茂る森の中に赤い屋根を持つ社が御崎神社。本土最南端の神社で縁結びのご利益が得られると人気だ。1300年以上という長い歴史を有する



国道沿いで赤い屋根瓦が目印。海を眺めながらゆっくり食事できる部屋がある。ホルモン定食が女性に人気で、ライダーにはカツ丼・ミニラーメンセットが人気だとか



創業40年の歴史と味を引き継ぎながら、地元でとれた新鮮な食材を活かした料理。対岸に薩摩富士を眺めながら潮騒とともにボリューム満点の料理を楽しめる

大泊・佐多岬エリア



美しい佐多岬の海に面したキャンプ場。バイクでキャンプサイト近くまで入場できる。太平洋に昇る朝陽はすばらしい一言に尽きる。無料なので、来た時よりも美しくの心で利用したい



バイク冒険家・風間深志さんがプロデュースする最南端バイクミーティングは、大泊港広場がメイン会場。近隣の佐多郵便局は本土最南端の郵便局、ハガキを買って風景印を押してもらおう



公園入口にある観光案内所では、最南端到達証明書や風間さんが発行する最南端記念コインが入手できる。担当の野口さんは地元のライダー、ツーリングルートやグルメ、なんでも聞いてみよう



さたてい号は船底に大きな窓があり、コバルトブルーの海に生息するサンゴ礁や熱帯魚等、佐多岬一帯の海中を間近に展望できる。1日に8便が運航し30分航海を周遊する。さたてい号で最南端のおさかな気分



佐多岬の先端から50メートル沖の大輪島に立つ白亜の灯台。イギリス人の設計で明治4年完成した日本最古の灯台の1つだが戦争で焼失し戦後建て直された。「日本の灯台50選」の一つ



南大隅町で温泉といえばここ。根占の中心部に近くアクセスが良い。美人の湯と呼ばれる肌触りの良い温泉で、源泉かけ流しの露天風呂もある。日帰り入浴の他、宿泊も可

グルメ・みやげ



健康に良いびわ茶は南大隅町で古くから作られ愛されてきた。クセがなくとても飲みやすい。また、特産の柑橘類「たんかん」を用いたソフトクリームは根占のなんたん市場(6)で、ミネラルをたっぷり含んだ手作りの塩「菜塩」を使ったソフトクリーム(写真)は佐多岬公園観光案内所(21)で販売中



町が発行する佐多岬到達証明書はさたてい号発着所(20)、ホテル佐多岬(18)、佐多岬公園観光案内所(21)でもらえる。また、風間深志さんが発行する最南端記念コインはホテル佐多岬、佐多岬公園観光案内所で購入可能

ナビゲーターはこの方!

松尾雅也さん  
福岡県筑紫野市

1984年、中型免許を取得した16歳の頃、「遠くへ行きたい」という思いを募らせて当時住んでいた福岡県太宰府市から目指した佐多岬に、この年齢になって再び立てたことを感慨深く思う。当日は、オフロードバイクを駆る鹿児島市の友人夫婦と共に桜島フェリーで大隅半島に渡った。噴煙を上げる桜島を見上げ、特産のカンパチの養殖いけすが浮かぶ錦江湾を右手に南下する。南大隅町に向かう道中、名物のカンパチ料理の専門店に、昼食にカンパチ丼を注文した。美しく盛りだてられた脂の乗った切り身を一口頬張るとあまりのうまさと思わず破顔し、唸ってしまった。南大隅町に入ると進路を「雄川の滝」に。駐車場から1.2キロの遊歩道の先に広がるエメラルドグリーンの滝つぼ、降り注ぐ幾筋もの清流は、まさに息をのむ美しさ。今度は早く送り出してくれた家族を連れて来ようと思った。錦江湾を隔てて開聞岳を望みながら走る佐多岬へのルートは爽快の一言に尽きる。ブレーキングと加速を繰り返しながらコーナーを抜ける先に、35年前の自分があるような気がした。



1.16歳からオフロードバイクを中心に乗り続ける松尾さんは、ホンダXR250Rで南大隅町を訪ねた。その他KTM400LC4GS、モトグツィー・ブレイバー750等を所有し51歳の今もバイクを楽しんでいる。2.錦江湾でとれる魚介類はどれもおいしい。南大隅町に来たら、きびなご、伊勢海老、カンパチ等を召し上げたい。身が引き締まって程よく脂がのったカンパチは、お刺身や丼ぶりでもいただきたい。3.雄川の滝は落差46m幅60mあり、瀑布は絹のように白くエメラルドグリーンの滝つぼによく映える。神秘的な姿は、NHKの大河ドラマ「西郷どん」のオープニングに登場した

おじゃったもんせ! 南大隅町

本土最南端・佐多岬 ツーリングガイド

最南端バイクミーティング実行委員会

南大隅町は三方を海に囲まれその先端が佐多岬。本土の最果てであると同時に、海の向こうに沖縄諸島やアジアの国々へとつながる、古くから貿易で栄えた場所である。佐多岬をツーリングするなら、関東・関西出発の場合、大阪から志布志フェリーを使うと便利だ。志布志から1時間強で南大隅町に至る。また、高速道路は鹿屋が終点でそこから約1時間。海沿いの景色がよく走りやすい道が続くが、安全運転に努めたい。なお、南大隅町の根占から対岸の指宿山川フェリーを利用すると、大隅・薩摩両半島を効率よくツーリングできる。



根占エリア



駐車場にバイクを駐めて、渓流に沿ってさわやかな気分歩き進むと、切り立った断崖から幾筋も水が流れ落ち、その流れを受ける滝壺はエメラルドグリーンに輝く。光の具合や水量によってその姿は異なり、何度でも訪ねたくなる場所だ



南大隅町の入口、根占(ねじめ)にある古民家風のライダーハウス。最南端バイクミーティング実行委員会を務める松元貴生さんが運営しており、部屋から見渡せる錦江湾の眺めと最南端の五右衛門風呂が自慢。休日はサウザンツーリングラリーの常連をはじめ多くのライダーで賑わう



社殿の前に並立する2基の鳥居が珍しく、その縁起はとも興味深い。地域を見守ってきた神社は里山の景色に溶け込み、のどかさや懐かしさがあふれている



南大隅町で温泉といえばここ。根占の中心部に近くアクセスが良い。美人の湯と呼ばれる肌触りの良い温泉で、源泉かけ流しの露天風呂もある。日帰り入浴の他、宿泊も可



菓子・調味料等の特産品、生鮮品や惣菜・弁当を販売。お土産やキャンプの食材を買うのにもってこい。甘みが強い柑橘類「たんかん」ソフトがお勧め。年中無休で営業



およそ450年前の大航海時代、根占は大変賑わっていた港町だった。昔から異文化交流があった町として、現代その文化的遺産を町おこしに毎年10月に開催されている。ドラゴンボート大会としては全国で最も古く、国内外から参加チームが集まる。南大隅町で一番盛り上がるイベントだ



征韓論に敗れ下野した西郷が西南戦争勃発前に滞在した家。この場所で西南戦争のきっかけとなる事件の発生を聞き、鹿児島島へ向かったという。西郷が人生の最期に穏やかな日々を過ごした場所と言えるだろう



幕末、生麦事件発生後にイギリスとの戦いに備えて造られた砲台。花崗岩で作られた石垣が今も残されている。眼前に錦江湾(鹿児島湾)が広がり、夕暮れ時は特に美しい



本土最南端の道の駅として知られ、館内のレストランでは錦江湾と開聞岳の大パノラマを眺めながら、コースカツや唐揚げといった各種定食やカレーなどの軽食が味わえる。土産物もここで買える



この辺りには数少ない砂浜のある海岸で、黄金色の砂浜が海の青さを一層際立たせる。夏場には多くの海水浴客でにぎわう。夕陽と対岸の開聞岳のシルエットがとても美しい



標高439mの展望台までバイクで行けて、山上から錦江湾を一望できる。その向こうには薩摩半島がどっしりと構えて、薩摩富士と呼ばれる開聞岳が美しい山容を見せる。山腹を駆ける道中も美しい